

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成31年2月7日(2019.2.7)

【公開番号】特開2017-225759(P2017-225759A)  
 【公開日】平成29年12月28日(2017.12.28)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-050  
 【出願番号】特願2016-125950(P2016-125950)  
 【国際特許分類】

A 4 7 C 20/08 (2006.01)

A 6 1 G 7/002 (2006.01)

【F I】

A 4 7 C 20/08 Z

A 6 1 G 7/002

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月21日(2018.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

足ボトムを回動自在に支持するメインフレームと、前記足ボトムの角度を調節するためのステータ、該ステータを支持する、前記メインフレームに固着された支持部材と、を備えた足ボトム支持構造において、

前記ステータは、2つの回転支持部と、2つの操作部と、2つの被支持部と、連結部と、が一体に形成され、

前記2つの被支持部はそれぞれ、前記支持部材に支持され、

前記連結部は、前記2つの被支持部の間に延在し、かつ両端が前記2つの被支持部にそれぞれ連なっており、

前記2つの回転支持部はそれぞれ、前記足ボトムに対して回動自在に挿通され、

前記2つの操作部はそれぞれ、前記回転支持部と前記被支持部との間に延在し、かつ前記回転支持部および前記被支持部に連なっている

ことを特徴とする足ボトム支持構造。

【請求項2】

前記2つの回転支持部、前記2つの操作部、前記2つの被支持部、および前記連結部はそれぞれ、互いに同等の大きさの断面を有することを特徴とする請求項1に記載の足ボトム支持構造。

【請求項3】

前記ステータは屈曲した棒状に形成されていることを特徴とする請求項1または2に記載の足ボトム支持構造。

【請求項4】

前記ステータは、前記2つの操作部が前記2つの被支持部から同じ側に延びることによってC字状に形成されていることを特徴とする請求項1から3のいずれか1項に記載の足ボトム支持構造。

【請求項5】

前記支持部材が、前記ステータの上方への移動を規制する上方規制部を有することを特徴とする請求項1から4のいずれか1項に記載の足ボトム支持構造。

**【請求項 6】**

使用者の膝から足先を支える足ボトムと、  
前記足ボトムを支持し、その角度を調節可能な足ボトム支持構造と、を有する寝台装置  
において、  
前記足ボトム支持構造は、請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の足ボトム支持  
構造であることを特徴とする寝台装置。